

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 スタイライフ株式会社

 コード番号 3037 URL <http://www.stylife.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 雅章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 中 研悟

TEL 03-5785-7001

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,002	△1.9	△310	—	△316	—	△365	—
23年3月期第3四半期	6,119	10.4	△18	—	△29	—	△33	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △364百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△17,184.20	—
23年3月期第3四半期	△1,680.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	4,764	1,912	40.2	89,037.72
23年3月期	4,833	2,176	45.0	109,313.85

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,912百万円 23年3月期 2,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				未	定

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成24年3月期期末配当予想につきましては、未定とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご確認ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,494	0.1	△265	—	△275	—	△269	—	△12,628.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	21,483 株	23年3月期	20,407 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	21,242 株	23年3月期3Q	19,907 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 追加情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災直後、国内経済は一時的に混乱し、景気は停滞いたしました。徐々に回復の兆しが見られ始めたものの、欧州の金融不安を背景とする円高の長期化などの影響から、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する衣料、コスメ、生活雑貨業界におきましても、景気の先行きが不透明な状況の中、慎重な消費行動が続いており、依然として厳しい市場環境下にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ファッションコマース事業において、㈱パルコと平成23年4月27日に業務・資本提携を締結し、同社グループとの連携による有力ブランドの開拓を促進するとともに、ショッピングサイトや雑誌、リアル店舗など相互の持つメディア・資産を活用したクロスプロモーションの検討などを開始いたしました。

また、同事業におけるネット部門では、平成23年6月にショッピングサイト『Stylife』、『nuan+』、『OUTLET CHU:SE』、『Look!s the net』、モバイルショッピングサイトの『スタイライフ☆Look!s』のシステムのリニューアル・統合を実施し、ショッピングカートやIDを共通化するなど、お客様の利便性向上を促進するとともに、さらに同年11月より、ファッションコーディネートをお楽しみいただけるスナップ写真などのコンテンツを拡充するなどのリニューアルを実施し、お客様が快適に楽しみながらショッピングいただけるサイトへの改善を進めました結果、同部門売上高は前年同期比17.0%増収となりました。

一方、Look!s部門（雑誌をメディアとする通信販売（以下、「通販」）事業を展開）が、東日本大震災の影響により『Look!s』の平成23年3月発行号の受注が落ち込んだことから、4月出荷が前年同月を大きく下回ったほか、ショッピングサイトの台頭やセールの長期化など市場環境への対応や、『Look!s』と『大人Look!s』との差別化などへの対応が遅れたことにより、売上が伸び悩みました。このような状況を受け、第2四半期以降、誌面及び商品構成等の見直し、ショッピングサイトとの連動強化など、事業改革のスピードを上げ、改善を図っております。

コスメ事業におきましては、東日本大震災後から期初においての宣伝活動を自粛したことに加え、購買意欲の冷え込みなどにより、新規顧客の獲得及びリピート購入が低下いたしました。さらに、宣伝活動の再開後、新規顧客の獲得、リピート購入の向上を図るため、宣伝・販売促進への投資を先行的に強化いたしました結果、一時的に収益が低迷いたしました。

生活雑貨事業におきましては、東日本大震災後の計画停電による既存取引先店舗の営業時間の短縮や消費者の購買意欲の低迷などの影響から、売上が伸び悩みました。一方、受注から在庫管理、物流までトータルで管理する基幹システムの開発、導入を見込んでおりましたが、その導入が遅れていることから物流関連コストが増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高60億2百万円（前年同期比1.9%減）、営業損失3億10百万円（前年同期は18百万円の損失）、経常損失3億16百万円（前年同期は29百万円の損失）となりました。

また、税制改正による繰延税金資産の見直しにより法人税等が増加いたしました結果、四半期純損失は3億65百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [ファッションコマース事業]

ファッションコマース事業は、ファッション通販雑誌『Look!s』『大人Look!s』、ファッションECサイト『Stylife』 (<http://www.stylife.co.jp/>)、『nuan+』 (<http://www.stylife.co.jp/nuan/>)、『OUTLET CHU:SE』 (<http://www.stylife.co.jp/chuse/>)、『Look!s the net』 (<http://www.stylife.co.jp/looks/>)、モバイルECサイト『スタイライフ ☆Look!s』の自社メディア及びKDDI㈱、沖縄セルラー電話㈱との共同サイト『au one Brand Garden』や㈱バンダイナムコゲームスとの共同サイト『LOVE EXバーゲン』等によるファッション関連アイテムの通信販売が主なものであります。

当第3四半期連結累計期間のファッションコマース事業の業績は、売上高47億62百万円（前年同期比1.1%減）、営業損失2億22百万円（前年同期は23百万円の損失）となりました。

#### [コスメ事業]

コスメ事業は、㈱ハイマックスにおける豆乳を使った自然派基礎化粧品の販売が主なものであります。

当第3四半期連結累計期間のコスメ事業の業績は、売上高7億32百万円（前年同期比4.3%減）、営業損失50百万円（前年同期は6百万円の利益）となりました。

〔生活雑貨事業〕

生活雑貨事業は、ノーマディック(株)におけるバッグを中心とする生活雑貨の卸売が主なものであります。

当第3四半期連結累計期間の生活雑貨事業の業績は、売上高5億6百万円（前年同期比2.4%減）、営業損失37百万円（前年同期は2百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ78,386千円減少となりました。

この主な要因は、現金及び預金が87,336千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ8,793千円増加となりました。

この主な要因は、無形固定資産が43,263千円増加し、繰延税金資産が22,348千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ69,593千円減少し、4,764,068千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ258,140千円増加となりました。

この主な要因は、買掛金が37,877千円、短期借入金が210,000千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ64,421千円減少となりました。

この主な要因は、長期借入金が135,470千円減少し、リース債務が85,762千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ193,719千円増加し、2,851,270千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ263,313千円減少となりました。

この主な要因は、四半期純損失365,026千円を計上し、9,953千円の配当を行い減少いたしました。第三者割当増資により76,180千円が増加したこと等によるものであります。

この結果、純資産合計は、1,912,797千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第4四半期以降も引続き、収益基盤の再構築を早急に進めるとともに、中長期的な成長に向けた改革を進めてまいります。

ファッションコマース事業におきましては、Look!s部門の抜本的な改革を進めてまいります。

主な施策といたしましては、ショッピングサイト『Look!s the net』において商品のコーディネート提案やLook!s特集記事のメイキング映像などのコンテンツを拡充、システム改善を行い、雑誌誌面においても、ショッピングサイトとの連動を強く打ち出していくとともに、Webプロモーションを拡充させるなど、ネットとの連動を強化し、集客力と商品販売力の強化を促進しております。

さらに、広告収入の拡大、ブランドブックなど臨時増刊の発行など収益機会の拡大を促進してまいります。

また、本年2月発行を予定しておりました『大人Look!s』を一旦、見送り、本年3月発行の『Look!s』に経営資源を集中させることで、1号当たりの売上拡大、採算向上を図ることといたしました。

一方、ネット部門におきましては、より一層の売上規模拡大に向け、集客力と購買率の向上を促進してまいります。現在、「コーディネート」をテーマにお客様が参考にしていただき、楽しんでショッピングいただける見せ方やコンテンツの拡充を進めており、平成23年11月21日にリニューアルを実施し、その後も魅力的なコンテンツ、サービスの拡充を図っております。

また、業務資本提携を行った㈱パルコ及び同社グループ、共同運営サイトを展開する㈱KDDI及び㈱バンダイナムコゲームスなどとの連動を強化するとともに、お客様に楽しんでショッピングいただけるサービス、仕組みの提供に注力してまいります。

コスメ事業におきましては、新規顧客の獲得に向けたプロモーションを継続しながら、先行的な投資により獲得した新規顧客のリピートを促進してまいります。

また、ショッピングサイト『豆腐の盛田屋』の売上拡大など、現在主力の電話営業部門以外の収益基盤の構築を早急に進めてまいります。

生活雑貨事業におきましては、物流及びシステム面の安定化を早急に進めるとともに、ベトナム生産など生産体制の拡充を進め、コスト改善を促進しております。

さらに、新規取引先の開拓、雑誌や取引先とのコラボレーションによる製品開発の強化、『ノーマディック オフィシャル・ショッピングサイト』のWebプロモーションの拡充による集客促進など、売上規模の拡大に精力的に取り組んでまいります。

以上により、現時点において、平成23年11月11日に公表いたしました平成24年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

配当予想につきましては、ファッションコマース事業におけるLook!s部門の改革の進捗、ネット部門を中心とするシステム投資の進捗などを慎重に精査した後、決定させていただきたく、現時点では、未定とさせていただきます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	415,957	328,621
受取手形及び売掛金	932,659	973,536
商品及び製品	889,979	898,119
仕掛品	15,758	17,163
原材料及び貯蔵品	49,979	47,214
その他	246,364	207,019
貸倒引当金	△2,322	△1,685
流動資産合計	2,548,376	2,469,989
固定資産		
有形固定資産	196,841	193,613
無形固定資産		
のれん	368,326	348,980
その他	700,956	763,565
無形固定資産合計	1,069,283	1,112,546
投資その他の資産		
投資有価証券	794,625	791,302
その他	224,941	197,123
貸倒引当金	△405	△507
投資その他の資産合計	1,019,160	987,918
固定資産合計	2,285,285	2,294,078
資産合計	4,833,661	4,764,068
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	648,518	686,396
未払金	183,307	226,007
短期借入金	800,000	1,010,000
1年内返済予定の長期借入金	204,670	188,000
未払法人税等	16,077	6,403
賞与引当金	35,319	24,830
返品調整引当金	43,418	6,466
販売促進引当金	27,222	30,048
その他	114,020	152,540
流動負債合計	2,072,554	2,330,695
固定負債		
長期借入金	337,400	201,930
退職給付引当金	29,712	26,690
その他	217,883	291,955
固定負債合計	584,996	520,575
負債合計	2,657,551	2,851,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,456,775	1,494,865
資本剰余金	700,455	716,978
利益剰余金	76,791	△298,188
自己株式	△56,968	—
株主資本合計	2,177,054	1,913,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△943	△857
その他の包括利益累計額合計	△943	△857
純資産合計	2,176,110	1,912,797
負債純資産合計	4,833,661	4,764,068



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	6,119,370	6,002,108
売上原価	3,751,332	3,959,410
売上総利益	2,368,037	2,042,697
返品調整引当金戻入額	35,089	43,418
返品調整引当金繰入額	16,008	6,466
差引売上総利益	2,387,119	2,079,648
販売費及び一般管理費	2,405,498	2,390,635
営業損失 (△)	△18,379	△310,986
営業外収益		
受取利息	227	1,240
債務勘定整理益	—	4,724
その他	5,039	8,378
営業外収益合計	5,267	14,343
営業外費用		
支払利息	13,295	14,077
持分法による投資損失	436	2,607
その他	2,919	3,208
営業外費用合計	16,651	19,893
経常損失 (△)	△29,763	△316,535
特別損失		
固定資産除却損	45	—
投資有価証券評価損	1,054	916
投資有価証券売却損	8,114	—
物流拠点移転費用	—	1,847
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	668	—
特別損失合計	9,883	2,764
税金等調整前四半期純損失 (△)	△39,647	△319,300
法人税、住民税及び事業税	16,831	5,450
法人税等調整額	△23,025	40,275
法人税等合計	△6,194	45,726
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△33,452	△365,026
四半期純損失 (△)	△33,452	△365,026

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△33,452	△365,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,832	86
その他の包括利益合計	△4,832	86
四半期包括利益	△38,285	△364,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△38,285	△364,940
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション コマ ース事業	コス メ事 業	生活雑 貨事 業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,816,497	765,825	519,023	6,101,346	18,024	6,119,370	—	6,119,370
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	677	94	772	—	772	△772	—
計	4,816,497	766,503	519,117	6,102,118	18,024	6,120,142	△772	6,119,370
セグメント利益又 は損失(△)	△23,907	6,779	2,182	△14,944	△3,435	△18,379	—	△18,379

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通販支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書計 上額 (注)1
	ファッション コマ ース事業	コス メ事 業	生活雑 貨事 業	計		
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	4,762,753	732,916	506,438	6,002,108	—	6,002,108
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	56	27	84	△84	—
計	4,762,753	732,973	506,466	6,002,192	△84	6,002,108
セグメント損失 (△)	△222,581	△50,776	△37,629	△310,986	—	△310,986

(注) 1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2 前連結会計年度まで「その他」に含まれておりましたファッションコマース関連以外の通販支援事業等につきましては、第1四半期連結会計期間より事業活動を行っていないため、記載しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月13日付で、㈱パルコから第三者割当増資の払込みを受けました。また、自己株式56,968千円についても、㈱パルコを引受先とする第三者割当により処分しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が38,090千円、資本準備金が16,522千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,494,865千円、資本剰余金が716,978千円となっております。

(6) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」

(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については38.01%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.64%になります。この税率変更により、繰延税金資産の金額は11,596千円減少し、法人税等調整額は11,596千円増加しております。

また、欠損金の繰越控除制度が平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から繰越控除前の所得の金額の100分の80相当額が控除限度額とされることに伴い、繰延税金資産の金額は15,777千円減少し、法人税等調整額は15,777千円増加しております。